

夏バテ防止にトマト

岐阜市 カネ井青果でイベント

「夏トマトの日」の8日、岐阜県産と福島県産のトマトのPRイベントが、岐阜市橋本町のカネ井青果アクティブG店で行われた。

全国農業協同組合連合会県本部（JA全農岐阜）と同店を経営する青果仲卸のカネ井青果(岐阜市)が、7～11月に収穫される夏秋トマトの出荷最盛期に合わせて開催。

店頭では、岐阜県産は標高が高い飛騨地方や中津川市加子母で寒暖差を生かし栽培するトマト、福島県産も寒暖差のある会津



「夏トマトの日」にちなんで販売された福島県の南郷トマトと岐阜県産トマト。岐阜市橋本町、カネ井青果アクティブG店

地方の「南郷トマト」が並んだ。大葉などとあえた岐阜県産トマトの試食もあり、来店客が味わっていた。

JA全農岐阜の林政和副本部長は「リコピンやクエン酸も豊富。夏バテ防止にもたくさん食べて」、同社の藤井雅人社長は「暑い日に体を冷やし食欲のないときも食べやすい」と夏トマトをPRしていた。

夏トマトの日はJA全農岐阜が2024年に制定した。
(小田香緒里)